

## NEWSLETTER No.66

編集・発行 甲南英文学会事務局  
〒658-8501  
神戸市東灘区岡本 8-9-1  
甲南大学文学部英語英米文学科気付  
メール：akimoto@konan-u.ac.jp  
ウェブ：http://www.konan-u.ac.jp/~els  
発行日 2019年7月16日

### 1 甲南英文学会総会・研究発表会・講演会報告

#### 総会

2019年7月6日（土）午後1時から第35回甲南英文学会総会が開催されました。中井誠一会長からの挨拶ののち、福田稔氏を議長に選出し、以下の議題が審議されました。

#### 議題

##### 1 2018年度収支決算報告

前会計担当水本有紀氏による18年度収支決算の報告の後、会計監査担当の堂村由香里氏により決算報告が適正であることが報告されました。特に会員からの質問もなく、承認されました。

##### 2 2019年度予算案

会計担当の齋藤幸恵氏より、19年度予算案について説明があり、異議なく承認されました。

##### 3 繰り越し金の扱いについて

会計担当の齋藤幸恵氏より、学会会計の繰越金が依然として余っているのをこれを「記念事業基金」に毎年10万円ずつ移動し、第40回の甲南英文学会時に50万円の積立とする案が提案され、異議なく承認されました。

##### 4 口頭発表申し込みの締め切りについて

幹事の秋元より、締め切り時点で発表者が揃わず新たに打診する際に、現在の締め切りでは準備期間が短いので、締め切りを3月の役員会前の3月10日～15日程度に早める役員会決議案が提案され、異議なく承認されました。

## 報告

### 1 名誉会員の推薦について

幹事の秋元より、3月の役員会で名誉会員に推挙された岩田良治先生、田中紀男先生両名が名誉会員を受諾された旨、報告がありました。

### 2 編集委員会より

編集委員長の中谷健太郎氏の代理の秋元より、『甲南英文学』No.34が発行された旨が報告されました。

## 研究発表

### [英語学]

司会：福田稔（宮崎公立大学）

- 1 チュートリアル「形式意味論の基本的な考え方について —外延, 内包, 集合, 可能世界に焦点を当てて—」

中谷健太郎（甲南大学）

- 2 「1回/1回だけ」が導く *semelfactive* と *activity* のアスペクト解釈の違い

志田祥子（甲南大学大学院博士後期課程）・中谷健太郎（甲南大学）

### [英米文学・文化]

司会：岩井学（甲南大学）

- 1 ヒーロー不在の物語 —「母と娘」における風刺される女たちの行末—

横山三鶴（甲南大学非常勤講師）

司会：浜本隆三（甲南大学）

- 2 ジェイムズの『死者たちの祭壇』とトリュフォーの『緑色の部屋』における生と死——アダプテーション理論を援用して

中井誠一（島根大学）

## 講演会

司会：Nigel Duffield（甲南大学）

日本語と英語の「指定文」について(The specificational sentence in Japanese and English)

西垣内 泰介（神戸松蔭女子学院大学教授）

## 懇親会

今回の懇親会は iCommons 内 Hirao Dining Hall North で、30 名の出席者を集めて開催されました。有村先生、中島信夫先生、David Rycroft 先生といった退職された懐かしい先生方とお会いできる貴重な機会となったのに加え、今回はご講演いただいた西垣内先生と Nigel Duffield 先生によるギターと歌の披露というアトラクションもあり、賑やかな会となりました。

## 2 編集委員会より

『甲南英文学』35 号の発行に向けて、論文、研究ノート、書評を募集します。締め切りは 11 月 30 日です。多数のご投稿をお待ちしております。

## 3 事務局より

- ・住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。メールでも構いません。
- ・会費未納の会員は、振替用紙でもって早急に会費を納入して下さるようお願い申し上げます。振込先は以下の通りです。また、今回お送りするものは 2017～2019 年度の会費に限られております。

■ゆうちょ銀行間の振替

口座番号 01180-6-43378

甲南英文学会

■他金融機関からの振込用口座番号

ゆうちょ銀行 一一九支店 当座 0043378 甲南英文学会

**お知らせ**

・来年度の甲南英文学会については、年始に正式な日程をメーリングリストでお知らせし、その際に口頭発表申し込みの締め切りもアナウンスいたします。発表をお考えの方は今からご準備いただければ幸いです。

・甲南大学プレミアプロジェクトの一環として、10月にイスラエルの作家エトガル・ケレットとシーラ・ゲフェンの夫妻を甲南大学にお招きいたします。東京・京都・神戸で映画祭を開催するほか、10月19日（土）には、夫妻の脚本監督による新作テレビドラマの上映と、ケレット氏と日本の著名作家との対談を柱としたイベントを開催いたします。招聘プロジェクト全体については特設サイト (<http://etgar-shira-jp.strikingly.com/>) に全ての情報が掲載されております。上記イベントに関しては事前申し込み制となり、8月ごろに申し込みが開始となる予定です。ぜひ足をお運びくださいますようお願い致します。

以上